

【第2回 学校運営協議会のまとめ】

令和6年9月25日（水）実施

○給食実食体験

1 開 会

2 報告連絡事項

3 協議事項

4 質疑応答（学校運営に関すること）

協議（熟議）内容	委員からの意見	協働して取り組むこと	備 考
<報告連絡事項> ◆学校の現況報告 ・ 体育祭の様子 ・ 不登校生徒の様子 ・ 読書活動推進事業 ・ 文化祭について ・ ふるさと教育について	◇体育祭では、炎天下の中での実施でしたが、躍動する生徒の姿に感動した。 ◇体育祭の第1週の開催だったが、生徒への負担はなかったか。時期としては、始業式後の2週間を目処に、子どもたちが学校に慣れた時期に開催はどうだろうか。もし、学校行事の日程調整がつくようであれば、1学期に開催することも検討してみてはどうか。 また、体育祭の不登校生徒の出席や様子を聞かせてほしい。 ◇ふるさと教育において、子どもたちは自分たちの住む朝来町を知っている生徒が少ないと思う。魅力を知る機会をつくることが大事である。 ◇朝来自治協議会としても、事業を多く企画している。例えば「鉾石の道ウォーキング」の開催や、出前事業の実施、郷土歴史文化に親しむ会を活用していただくのも一つの手段である。 また、地域の祭りに積極的参加を促すように学校からもお願いしたい。 ◇中体連の大会開催日程において、各地区の秋祭りに配慮した試合日程を検討してもらいたい。 ◇中川小学校150周年式典行事の中で、地域の歴史等の資料が作成されるので、その資料を中学校でも活用してみてもどうか。 ◇文化祭の中で、生徒が学習した郷土について発表・紹介する機会をつくることも有効な手立てと考える。	□体育祭の実施時期については、学校行事の日程調整や熱中症対策も考慮しながら、生徒への負担にならないよう来年度開催日程を検討していく。 □学校として、地域行事に積極的に参加するように呼びかけを継続的に行うとともに、参加しやすい環境づくりに努める。例えば、秋祭りの開催日は部活動を行わない等である。 □秋祭りの時期に開催される新人大会の日曜日開催がないように但馬中体連に申し入れを行う。 □校区内の小学校とも連携を図り、郷土学習に取り組めるように情報交換を積極的に行う。 □全校集会や生徒集会において、時間確保を行い、各学年の取組内容の報告会として開催することも可能である。	

<協議事項> ◆読書活動推進事業の取組について	◇昨年度に引き続き、読書カードの作成や読み聞かせは実施されるか。 また、地域ボランティアとして、大人の読み聞かせグループもあるので、中学校へ出向き、協力できるので遠慮なく申してほしい。 ◇学校図書室の活用状況はどうか。生徒が図書室を利用したくなる環境と運営を心掛けることが大切である。そのためには、生徒にゆとりを持たせ、時間を確保できる取組をぜひ、お願いしたい。 読書（本）が好きな生徒は、比例して学習成績も高いと言える。	□朝の読書の時間を活用することで実施は可能である。月あるいは学期に各学年に1回程度の実施を前向きに検討する。 □無料の読書管理アプリを全校生徒のタブレットに導入して、読書意欲の向上につなげる。 □図書委員会の中で議論を深め、検討する。 □次回、図書室の現状を見学し、運営協議会委員として協働して取り組めることを模索する。 □図書室の運営について、森の図書館職員の意見を取り入れて運用してみる。	
<協議事項> ◆新制服導入に向けて	◇新制服（ブレザータイプ）になる方向であるが、基本は高校入試で良い印象を持たれるかが大事に思う。 ◇ジェンダーレスの観点からもネクタイ・リボンについても選択性にして男女どちらでよい。または、つけなくてもよい選択肢があつてよいように思う。	□校内制服検討委員会の中で、運営協議会の意見を反映していく。	
<協議事項> ◆学校評価（中間評価）について	◇先生方は一学期の内部評価では、厳しめに評価されているように感じる。実際は、これより高い評価であってもよいと感じる。 ◇キャリア教育・道徳教育で評価Cを付けておられるが、実際はこれより高い評価であると考えられる。先生方が、指導している内容が教育活動全体ととらえ、意識して指導しているかにより、評価が分かれたのではなかろうか。 ◇食育で、給食の残菜が多いとの課題があるが、生徒への指導はどのようにされているのか。強制できないのであれば、何か工夫をしなければ改善は難しいと感じる。	□年度末の学校評価においては、事前に評価観点について説明を行い、評価記入をお願いする。 □給食委員会と連携を図りながら、食事に対して有り難みを感じられるよう指導を行う。	
<協議事項> ◆部活動の地域移行について	◇県の方針は示されたが、朝来市としてはどのようにしていくのか。 ◇過去にも朝来町では、社会体育に移行して部活動を運営した経験があるが、結果的には続かなかった。その時の課題を踏まえながら、今後の部活動の在り方を検討してもらいたい。	□まずは土日から実施できる部活動から取り組んでいく。今村部活動指導員の力を借りながら、剣道部から実施していきたい。 □本市に「部活動の在り方検討委員会」が設置され、検討が始まった。その委員会において、学校の現状等を訴えていき、よりよい方向を見いだしていきたい。	

<協議事項> ◆学校運営について	◇朝中生のふるさと愛の醸成を図る取組を一緒に考えてもらいたいとの学校からの提案があったが、何ができるだろうか。委員一人一人が今できることを考えてもらいたい。	□委員それぞれの立場で、熟議を重ねて検討していく。	
<その他> ◆今後の予定確認	◇部活動指導員として、生徒と関わっているが、剣道の指導だけではなく、朝来町に愛着の持てる子どもたちの育成にも視点を持ちながら、関わっていきたく考える。	□「さくらメール」に委員全員が登録していることで、学校の情報が共有できている。	

5 その他

(1) 第3回 11月7日(木) 13:30～15:00

(小6対象オープンスクール)

(2) 第4回 2月 日() 中旬 13:30～15:00

(学校保健委員会と合同)

(3) その他の活動

○10月3日(木) 文化祭【合唱コンクール審査員を依頼】

○3学期(1月下旬～2月初旬) 3年生高校入試【面接官を依頼】

6 閉 会

7 制服検討委員会

・制服業者によるプロポーザルへ参加

協議(熟議)内容	委員からの意見	協働して取り組むこと	備 考
<制服検討委員会> ◆制服業者によるプロポーザルに参加	◇ネクタイ・リボン着用タイプの制服の方が端正であると思う。着用については個人の自由とし、儀式時には着用することを義務付けて採用してはどうだろうか。 ◇学校運営委員会は、ネクタイ・リボン着用タイプを推奨。	□校内制服検討委員会との連携と相談を図りながら、制服のデザイン等を選定していく。	